



## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月13日

上場会社名 シチズン時計株式会社 上場取引所 東  
コード番号 7762 URL https://www.citizen.co.jp  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 敏彦  
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 広報IR室担当 (氏名) 古川 敏之 TEL 042-468-4934  
四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 2023年12月5日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	152,924	3.5	13,542	9.6	17,417	3.7	13,388	5.9
2023年3月期第2四半期	147,695	8.8	12,354	15.6	16,801	39.1	12,645	28.1

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 29,606百万円( 5.0%) 2023年3月期第2四半期 28,208百万円( 155.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	54.26	—
2023年3月期第2四半期	43.15	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	411,248	245,057	57.5	969.53
2023年3月期	389,982	232,775	57.5	866.68

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 236,393百万円 2023年3月期 224,179百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	15.00	—	19.00	34.00
2024年3月期	—	20.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	310,000	2.9	25,000	5.4	28,500	△2.1	21,000	△3.8	81.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	246,000,000株	2023年3月期	294,000,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	2,176,552株	2023年3月期	35,334,190株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	246,725,146株	2023年3月期2Q	293,078,645株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における国内経済は、経済活動の正常化に伴い個人消費は増加基調を保ち、緩やかな持ち直しの動きを維持しました。また、北米および欧州経済は、インフレと金利上昇による景気の後退懸念が強まりながらも賃上げの広がりや雇用の増加もあり、個人消費は堅調さを保ちました。アジア経済は、中国における経済活動再開後の景気回復が鈍く、その他のアジア地域も輸出や設備投資需要に勢いを欠き回復は緩やかなものに留まりました。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間の連結経営成績は、主に時計事業が堅調に推移し売上高は1,529億円(前年同期比3.5%増)、営業利益は135億円(前年同期比9.6%増)と増収増益となりました。また、経常利益は174億円(前年同期比3.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益については133億円(前年同期比5.9%増)と、それぞれ増益となりました。

#### (時計事業)

ウォッチ販売のうち、“CITIZEN”ブランドの国内市場は、物価上昇に伴う消費マインドの低下が見られながらも、『ATTESA』や『PROMASTER』などの中核ブランドが好調に推移するなど底堅さを保ち、またインバウンド需要にも回復が見られたことで、増収となりました。

海外市場のうち北米市場は、物価上昇率が依然として高い水準を維持しており先行き不透明感が強まる中、ジュエリーチェーンや百貨店流通において弱含んだ動きも見られましたが、主にEC販売などが好調に推移したことで増収となりました。欧州市場は、激しい物価高に見舞われながらもイギリス、イタリアなどが好調に推移し、フランスにおいても新たな取扱店の拡大が順調に進んだことなどにより増収となりました。アジア市場は、人流の回復に伴いシンガポールなどが上向き傾向を維持し、中国もまだ限定的ではあるものの徐々に回復に転じたことで増収となりました。

“BULOVA”ブランドは、主力の北米市場において、ジュエリーチェーンなどの主要流通に勢いを欠く展開となったものの、トラベル流通など新たな販路の広がりが補い、増収となりました。

ムーブメント販売は、機械式ムーブメントが堅調に推移した一方で、アナログクォーツムーブメントが欧米市場における景気後退懸念を受け慎重な動きとなり、前年並みの実績となりました。

以上の結果、時計事業全体では、長引く世界的な物価上昇に伴う消費マインドの低下が懸念される中、グローバルブランドや、プレミアムブランド及び機械式時計の強化に向けた取り組みを進めたことで、売上高は785億円(前年同期比7.0%増)と増収となりました。営業利益においては、売上高の上昇と継続的な収益性改善に向けた取り組みが寄与し、102億円(前年同期比15.9%増)と増益となりました。

#### (工作機械事業)

国内市場は、全体的に設備投資への慎重姿勢が広がる中、自動車関連の出荷が伸び悩みましたが、建機や医療関連などが底堅く推移し、増収となりました。海外市場は、中国やその他のアジア市場の市況低迷が継続しており販売が落ち込んだものの、欧州及び米州市場で主に医療関連の販売が堅調に推移したことで、前年並みの実績を確保しました。

以上の結果、工作機械事業全体では売上高は414億円(前年同期比1.3%増)と増収となりました。営業利益においては部材価格の高騰の影響等により52億円(前年同期比5.5%減)と減益となりました。

#### (デバイス事業)

精密部品のうち自動車部品は、半導体不足に伴う部品の供給不足が緩和するとともに自動車メーカーの生産回復が進み、増収となりました。また、小型モーターは医療関連など幅広い分野での市況回復が寄与し増収となったものの、水晶デバイスはPCやIoT関連市場における需要減速を受け減収となり、精密部品全体では前期並みとなりました。

オプトデバイスのうちチップLEDは、ゲーム機向け等が底堅く推移した一方、車載向けLEDの回復の遅れや中国・アジア市場の景気減速の影響等により照明向けLEDが落ち込み、減収となりました。

以上の結果、デバイス事業全体では売上高は221億円(前年同期比3.2%減)と減収となりましたが、営業利益は固定費削減を進めたことにより4億円(前年同期比1,708.2%増)と増益となりました。

## (電子機器他事業)

情報機器は、市況環境に対する見通しの悪化から需要の回復は弱いものとなりPOSプリンターやバーコードプリンターが伸び悩んだものの、フォトプリンターがイベント需要の拡大等により好調に推移し、増収となりました。健康機器は、体温計が新型コロナウイルス感染症の収束に伴う需要の落ち込みや、血圧計の値上げによる販売数の減少が響き、減収となりました。

以上の結果、電子機器他事業全体では、売上高は107億円(前年同期比3.0%増)、営業利益は主に健康機器の落ち込みが響き6億円(前年同期比9.3%減)と、増収減益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ212億円増加し、4,112億円となりました。資産のうち流動資産は、現金及び預金が35億円減少した一方で、棚卸資産が143億円、受取手形及び売掛金が52億円増加したこと等により、137億円の増加となりました。固定資産につきましては、機械装置及び運搬具が22億円、リース資産が21億円増加したこと等により、75億円の増加となりました。

負債は、前連結会計年度末に比べ、未払費用が26億円、未払法人税等が20億円増加した一方で、短期借入金が9億円減少したこと等により89億円増加し、1,661億円となりました。

純資産につきましては、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上した一方で、123億円の自己株取得や49億円の配当を行ったこと等により株主資本が38億円減少したこと、為替換算調整勘定が133億円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ122億円増加しました。

なお、391億円の自己株消却をしたことにより、利益剰余金と自己株式が減少しております。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の経済情勢につきましては、緩やかな回復基調を維持すると見られる一方で、インフレ抑制に向けた金融引き締め政策の動向や地政学リスクの高まりなど、依然として不透明感の強い状況で推移しています。

当社では、主力の時計事業が欧州市場を中心に想定を上回り、“CITIZEN”ブランドが好調に推移しました。また工作機械事業は受注の調整局面が継続しているほか、デバイス事業においても中国市場の回復遅れを受け、苦戦を強いられています。

以上のことから、通期業績予想および通期セグメント別業績予想を下記の通り修正いたしました。

なお、第3四半期以降の為替レートにつきましては、1 USD=145円、1 EUR=155円を想定しています。

## 2024年3月期 通期連結業績予想の修正 (2023年4月1日～2024年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (2023年5月12日)	百万円 310,000	百万円 25,000	百万円 26,000	百万円 20,000	円 銭 77.32
今回修正予想	310,000	25,000	28,500	21,000	81.19

## 2024年3月期 通期セグメント別業績予想の修正 (2023年4月1日～2024年3月31日)

	時計事業	工作機械 事業	デバイス 事業	電子機器他 事業	消去または 全社	合計
前回発表予想売上高 (2023年5月12日)	百万円 155,000	百万円 87,000	百万円 47,500	百万円 20,500	百万円 -	百万円 310,000
今回修正予想売上高	166,000	79,000	42,000	23,000	-	310,000
前回発表予想営業利益 (2023年5月12日)	17,000	12,500	700	800	▲6,000	25,000
今回修正予想営業利益	19,700	9,200	200	1,900	▲6,000	25,000

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	82,490	78,981
受取手形及び売掛金	53,718	58,930
電子記録債権	2,081	2,401
商品及び製品	58,604	68,239
仕掛品	24,291	28,422
原材料及び貯蔵品	25,595	26,168
未収消費税等	3,052	2,328
その他	10,907	9,173
貸倒引当金	△1,099	△1,250
流動資産合計	259,642	273,395
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	41,808	42,625
機械装置及び運搬具（純額）	15,868	18,150
工具、器具及び備品（純額）	3,899	4,373
土地	10,367	10,474
リース資産（純額）	5,134	7,261
建設仮勘定	2,443	2,353
有形固定資産合計	79,521	85,238
無形固定資産		
ソフトウェア	3,951	4,239
その他	799	856
無形固定資産合計	4,751	5,095
投資その他の資産		
投資有価証券	39,021	40,599
長期貸付金	163	180
繰延税金資産	5,581	5,240
その他	1,675	1,758
貸倒引当金	△236	△260
投資損失引当金	△138	—
投資その他の資産合計	46,066	47,518
固定資産合計	130,340	137,853
資産合計	389,982	411,248

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,889	19,938
電子記録債務	13,325	13,743
設備関係支払手形	18	99
営業外電子記録債務	384	993
短期借入金	3,787	2,798
1年内償還予定の社債	10,000	—
未払法人税等	2,179	4,241
未払費用	10,997	13,667
賞与引当金	6,156	6,144
役員賞与引当金	303	—
製品保証引当金	1,244	1,327
事業再編整理損失引当金	110	111
その他	11,918	10,808
流動負債合計	79,317	73,873
固定負債		
社債	—	10,000
長期借入金	51,328	52,351
繰延税金負債	3,628	4,938
事業再編整理損失引当金	6	6
退職給付に係る負債	16,572	16,942
リース債務	4,679	6,756
その他	1,673	1,321
固定負債合計	77,889	92,317
負債合計	157,206	166,191
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	32,648	32,648
資本剰余金	33,740	33,740
利益剰余金	150,483	119,781
自己株式	△28,581	△1,696
株主資本合計	188,290	184,474
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,161	12,788
為替換算調整勘定	25,659	39,019
退職給付に係る調整累計額	67	110
その他の包括利益累計額合計	35,888	51,918
非支配株主持分	8,596	8,664
純資産合計	232,775	245,057
負債純資産合計	389,982	411,248

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	147,695	152,924
売上原価	88,486	88,338
売上総利益	59,208	64,585
販売費及び一般管理費	46,854	51,042
営業利益	12,354	13,542
営業外収益		
受取利息	284	590
受取配当金	501	523
持分法による投資利益	584	750
助成金収入	131	10
為替差益	3,084	2,838
その他	280	170
営業外収益合計	4,864	4,883
営業外費用		
支払利息	146	177
自己株式取得費用	79	586
社債発行費	—	53
その他	191	190
営業外費用合計	417	1,008
経常利益	16,801	17,417
特別利益		
固定資産売却益	1,743	31
投資有価証券売却益	—	554
その他	238	6
特別利益合計	1,982	592
特別損失		
固定資産除却損	305	234
固定資産売却損	11	21
減損損失	670	2
事業再編整理損	20	5
投資有価証券評価損	—	14
その他	22	11
特別損失合計	1,031	288
税金等調整前四半期純利益	17,752	17,721
法人税等	5,261	4,381
四半期純利益	12,490	13,339
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△155	△48
親会社株主に帰属する四半期純利益	12,645	13,388

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	12,490	13,339
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△669	2,627
為替換算調整勘定	15,531	12,899
退職給付に係る調整額	△18	42
持分法適用会社に対する持分相当額	874	697
その他の包括利益合計	15,717	16,266
四半期包括利益	28,208	29,606
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	28,001	29,418
非支配株主に係る四半期包括利益	207	188

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	17,752	17,721
減価償却費	5,647	5,867
引当金の増減額 (△は減少)	△625	△532
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△3,543	187
受取利息及び受取配当金	△785	△1,113
支払利息	146	177
助成金収入	△131	△10
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△554
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	14
固定資産売却損益 (△は益)	△1,731	△10
固定資産除却損	305	234
減損損失	670	2
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,460	△209
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△7,742	△8,172
仕入債務の増減額 (△は減少)	△3,317	△2,706
その他	636	5,082
小計	5,820	15,978
利息及び配当金の受取額	803	1,118
利息の支払額	△146	△179
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△5,294	△1,205
助成金の受取額	131	10
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,313</b>	<b>15,721</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
投資有価証券の売却による収入	—	2,733
有形固定資産の取得による支出	△6,263	△8,003
有形固定資産の売却による収入	1,804	103
無形固定資産の取得による支出	△490	△910
貸付けによる支出	△1	△1
貸付金の回収による収入	1	1
定期預金の預入による支出	△7,030	△966
定期預金の払戻による収入	2,060	2,457
その他	△87	△224
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△10,008</b>	<b>△4,810</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,000	△8
長期借入れによる収入	—	1,000
長期借入金の返済による支出	—	△1,014
社債の発行による収入	—	10,000
社債の償還による支出	—	△10,000
配当金の支払額	△2,687	△4,923
非支配株主への配当金の支払額	△46	△120
自己株式の取得による支出	△2,924	△12,889
自己株式の売却による収入	—	0
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△0
その他	△173	△628
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△6,831</b>	<b>△18,584</b>

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
現金及び現金同等物に係る換算差額	7,686	5,385
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△7,840	△2,288
現金及び現金同等物の期首残高	111,237	79,201
現金及び現金同等物の四半期末残高	103,397	76,912

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得及び消却)

当社は、2023年2月13日開催の取締役会決議に基づき、自己株式14,875,100株の取得を行い、当第2四半期連結累計期間において自己株式が12,301百万円増加しました。また、2023年6月21日開催の取締役会決議に基づき、2023年6月30日付けで、自己株式48,000,000株の消却を行った結果、当第2四半期連結累計期間において利益剰余金及び自己株式がそれぞれ39,166百万円減少しました。

なお、当第2四半期連結会計期間末において利益剰余金が119,781百万円、自己株式が1,696百万円となっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	時計事業	工作 機械事業	デバイス 事業	電子機器 他事業	合計	調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
売上高							
外部顧客への売上高	73,392	40,904	22,922	10,474	147,695	—	147,695
セグメント間の内部売上高 又は振替高	44	76	736	314	1,173	△1,173	—
計	73,436	40,981	23,659	10,789	148,868	△1,173	147,695
セグメント利益	8,805	5,525	22	744	15,097	△2,743	12,354

(注) 1. セグメント利益(営業利益)の調整額△2,743百万円には、セグメント間取引消去53百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,796百万円が含まれております。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「デバイス事業」セグメントにおいて、機械装置及び運搬具等について670百万円の減損損失を計上していません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	時計事業	工作 機械事業	デバイス 事業	電子機器 他事業	合計	調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
売上高							
外部顧客への売上高	78,507	41,432	22,198	10,786	152,924	—	152,924
セグメント間の内部売上高 又は振替高	38	70	866	333	1,310	△1,310	—
計	78,546	41,503	23,064	11,119	154,234	△1,310	152,924
セグメント利益	10,203	5,220	400	675	16,499	△2,956	13,542

(注) 1. セグメント利益(営業利益)の調整額△2,956百万円には、セグメント間取引消去41百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,997百万円が含まれております。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。